

海外センター課長

国協（社・セ）75-04

MARAクアラルンプール職業訓練校 引継調査団調査報告書

国際協力事業団

ARY

JICA LIBRARY



108881843

マイクロ
フィルム作成

国際協力事業団	
受入 月日	'87. 6. 3
	1/3
登録 No.	08573
	2/3
	SDC

は し が き

マレーシア政府の、第一次五ヶ年計画においてマレー人の人的資源の開発、雇用の機会を増大、所得格差の是正等を計るため設立されたMAJLIS AMANAH RAAYAT(以下MARAという)に対する技術協力の要請に基づき、当事業団は昭和47年11月事前調査団、昭和48年6月実施調査団を派遣し、同年6月26日実施調査団とMARAとの間でMARAクアラルンプール職業訓練校の電気及び電子科に対し2年間センター協力を実施する旨の合意議事録に署名した。

同議事録に基づき、昭和48年12月より2年間電気、及び電子科の専門家2名を派遣するとともに、機材については約80,000千円相当の機材供与を、更にカウンターパートについては昭和49年に電気科の指導員2名の受け入れを実施した。

当事業団は、本年6月25日をもって上記合意議事録に基づく協力期間が満了するのに際し、クアラルンプール職業訓練校の電気、及び電子科に対するセンター協力の効果、供与機材の活用状況、保管及び合意議事録満了後の専門家の地位及び任期、カウンターパートの育成状況等を調査し、円滑な引継ぎを計ることを目的として、労働省職業訓練局指導課長八木克己氏を団長とする3名の引継調査団を編成し、本年5月27日より16日間マレーシア国に派遣した。同調査団は、上記の各調査項目に関し、クアラルンプール職業訓練校及びMARA、派遣専門家、大使館と打ち合わせを行なった結果、本年6月10日に上記合意議事録による協力期間を昭和51年1月21日まで延長する旨の合意がなされた。本報告書は、同調査団の調査結果に基づきとりまとめたものである。

ここに、調査団派遣にご協力いただいた労働省及び在マレーシア日本国大使館の方々に對し深甚の謝意を表する次第である。

国際協力事業団
社会開発協力部長 大野正夫

MARA 職業訓練校所在地



- 既設訓練校
- 1976年設置予定訓練校
- × 第三次五ヶ年計画設置予定訓練校

目 次

はしがき		
地 図		
I. 序 論	I - 1. 調査の経緯	1
	I - 2. 調査の目的及び内容	1
	I - 3. 調査団の編成及び調査行程	1
II. 合意議事録	II - 1. 合意議事録延長の経緯	3
	II - 2. 合意議事録（原文）	4
	II - 3. 合意議事録（和文 — 仮訳）	5
III. 調査結果	III - 1. 総 論	7
	III - 2. 供与機材の活用及び保管状況	9
	III - 3. 専門家の活動状況	10
	III - 4. カウンターパートの育成及び受け入れ状況	11
	III - 5. 専門家の要望事項	12
	III - 6. 調査団所感	12
IV. クアラ Lumpur 職業訓練校概要		15
V. 日本に対する援助要請プロジェクト及び各職業訓練校の概要		37
	V - 1. ジョホール職業訓練校の概要	37
	V - 2. マラッカ職業訓練校の概要	38
	V - 3. 日本に対する援助要請プロジェクトの概要	38

I. 序 論

I-1. 調査の経緯

本センター協力は、昭和46年9月のマレーシア政府よりの日本国政府に対する協力要請に端を発し、昭和47年2月の公信でもって正式に専門家派遣及び機材供与を要請越した。

本要請に応じて、日本国政府は小型プロジェクト方式で協力することとし、その実施を海外技術協力事業団に委託した。

当事業団は、協力の可能性について調査するため昭和47年11月に事前調査団（労働省職業訓練局上席技能検定官工藤侃団長他2名）、昭和48年6月に実施調査団（同工藤侃団長他2名）を派遣し、同実施調査団とMARA本部の間で、協力範囲、協力期間等を記載した合意議事録を作成し、同年6月26日に署名した。

本合意議事録に基づき、当事業団は昭和50年6月25日までの2ケ年の協力期間満了時をめぐり、昭和48年12月に電子科志田専門家、昭和49年1月に電気科川上専門家を派遣し、機材供与については昭和47年度繰越でもって45,000千円、昭和48年度翌債でもって35,700千円の設置費を計上し、合意議事録記載の機材リストに基づき購送を実施した。

又、カウンターパートについては、昭和49年度に電気科2名を受け入れ、昭和50年度においては電気科、電子科各2名の受け入れを実施する予定である。

I-2. 調査の目的及び内容

昭和50年6月25日をもって、二年間の協力期間が満了となるため、下記項目に関する調査及びMARA側と打ち合わせをし円滑な引き継ぎを行うことを目的とする。

- (1) 合意議事録による協力期間と専門家の任期
- (2) 設置機材の活用及び保管状況
- (3) カウンターパートの育成及び受け入れ状況
- (4) 専門家の活動状況
- (5) センター協力の効果及び問題点

I-3. 調査団の編成及び調査行程

団 長	八 木 克 己	労働省職業訓練局指導課長
団 員	寺 嶋 千 明	同 基準第一係長
"	桜 田 幸 久	国際協力事業団社会開発協力部海外センター課
調査期間	16日間	自 昭和50年5月27日(火)
		至 昭和50年6月11日(水)

調 査 行 程

月 日	行 程
5月27日(火)	羽田空港発 クアラルンプール空港着 川上・志田専門家及び調査団と基本方針検討
28日(水)	大使館左達書記官と基本方針検討 須磨大使表敬 労働省表敬 (FONG SOON HENG, DIRECTER GENERAL DEPERTMENT OF MANPOWER) ITI視察
29日(木)	MARA本部(日程調整及び調査事項討議) クアラルンプール職業訓練校視察(訓練計画, 供与機材等)
30日(金)	クアラルンプール職業訓練校にて討議(訓練計画, 供与機材, 実習場等) クアラルンプール職業訓練校指導員(日本での研修修了者2名, 日本派遣予定者4名), 川上・志田専門家, 校長代理並びに調査団と討議
31日(土)	川上専門家及び志田専門家と討議(専門家の任期, MARAの協力態勢, R/Dの遵守, 要望事項, 指導員の日本研修の効果, その他)
6月①日(日)	クアラルンプール職業訓練校にてNITTCBの技能検定実施状況の視察
2日(月)	大使館左達書記官と討議(調査経過の報告, R/D案検討, 今後の方針等)
3日(火)	MARA本部討議(R/D案提示及びデスクッション, クアラルンプール職業訓練校における調査結果に基づきデスクッション) MIT見学(ペタリンジャヤ)
④日(水)	調査内容検討(国王生誕記念日)
5日(木)	クアラルンプール空港発→ジョホールバル空港着 MARAジョホールバル職業訓練校視察(現状及び今後の計画, 実習場等見学, 指導員とデスクッション) M. S. Eの工事現場視察
6日(金)	ジョホールバル空港発→クアラルンプール空港着 クアラルンプール ^(車) マラッカ MARAマラッカ職業訓練校視察(現状及び今後の計画, 実習場等視察, 指導員と討議等) マラッカ ^(車) IKM視察 ^(車) クアラルンプール
7日(土)	MARA本部(ジョホールバル職業訓練校及びマラッカ職業訓練校における調査結果について討議, 並びにR/D案について討議。今後のMARA長期計画について事情聴取。
⑧日(日)	資料整理及び調査団内討議
9日(月)	大使館左達書記官と討議(調査経過の説明, R/D案の検討, その他) 伊藤公使に調査結果報告
10日(火)	MARA本部(R/D署名)
11日(水)	クアラルンプール空港発 羽田着

II. 合意議事録

II - 1. 合意議事録延長の経緯

MARA本部と調査目的、調査内容、調査日程の打ち合わせの席上、MARA側より、1973年6月26日署名した合意議事録(R/D)が本年6月25日をもって終了予定である。しかしながら第三次五ヶ年計画における職業訓練に対する助言、職業訓練実施面におけるシラバスの作成及び運用等に対する助言、さらにクアラルンプール職業訓練校の指導員に対する技術的指導等がまだ必要とされるのでさらに協力を延長して欲しい旨要請があった。

当調査団は、MARA本部との打ち合わせ、クアラルンプール職業訓練校での調査、専門家及び大使館との打ち合わせの結果、R/Dを延長した方がより効果が期待できるものと判断し、専門家及び大使館の了承の上で、MARA本部に対し協力期間延長を旨としたR/D案を提示した。

同R/D案に対しMARA本部訓練部管理課長、同訓練課長補佐等と討議した結果、2～3の語句の加筆及び修正を行なった上で6月10日MARA総裁と調査団長との間で1976年1月21日まで協力期間を延長する旨のR/Dに署名した。

THE RECORD OF DISCUSSIONS FOR THE MARA
VOCATIONAL TRAINING INSTITUTE,
KUALA LUMPUR.

At the expiry of the cooperation period in the "RECORD OF DISCUSSIONS BETWEEN THE JAPANESE IMPLEMENTATION SURVEY MISSION AND MARA CONCERNING THE JAPANESE TECHNICAL COOPERATION TO MARA VOCATIONAL TRAINING INSTITUTE, KUALA LUMPUR", the Japan International Cooperation Agency (JICA) formerly known as Overseas Technical Cooperation Agency (OTCA) organized the Japanese Survey Team headed by Mr. Katsumi Yagi, Head of the Training Division, Vocational Training Bureau, the Ministry of Labour, the Government of Japan, to make studies and discussions on the matters relating to the present and future development of the MARA Vocational Training Institute, Kuala Lumpur.

After having studied and exchanged their views from May 27, 1975, the Japanese Survey Team and the MARA have agreed as follows:

That the cooperation period of the above-mentioned Record of Discussions signed at Kuala Lumpur, June 26, 1973, will be extended until January 21, 1976.

Kuala Lumpur, June 10, 1976.

For the Japan International
Cooperation Agency,

(KATSUMI YAGI)
Head of
The Japanese Implementation
Survey Mission.

For Majlis Amanah Raayat,

(SULAIMAN BIN OSMAN)
Director General,
MARA.

II-3. 和文（仮訳）

MARA クアラルンプール職業訓練校引継調査 合 意 議 事 録

国際協力事業団（旧海外技術協力事業団）は「日本側実施調査団とMARA間のMARAクアラルンプール職業訓練校に対する日本の技術協力に関する合意議事録」に基づく協力期間の満了に際し、MARAクアラルンプール職業訓練校の運営に係る諸事項を調査し、打ち合わせをするため、労働省職業訓練局指導課長八木克己氏を団長とする引継調査団を編成した。

1975年5月27日より調査並びに意見交換を行なった結果、引継調査団とMARAは次の様に合意した。

1973年6月26日クアラルンプールで署名した上記合意議事録の協力期間を1976年1月21日まで延長するものとする。

クアラルンプール，1975年6月10日

国際協力事業団のために

日本側引継調査団々長

八 木 克 己

MARAのために

MARA 総裁

SULAIMAN BIN OSMAN

III. 調査結果

Ⅲ-1. 総 論

マレーシア到着後、日本側で交渉予定者としていたMARA訓練部長、訓練課長が5月下旬より約1ヶ月研修員の受け入れ要請のため渡米中で、又クアラルンプール職業訓練校長は7月1日より開始する新入生の入学試験のため不在で、交渉の困難さを感じさせたが、大使館左達一等書記官、MARA総裁以下の職員及び訓練校派遣の川上、志田専門家の協力により前述Ⅱで示したR/Dに署名することとなった。

調査結果の各論はⅢ-2以下に述べるが、本協力は他プロジェクトに見られる様なWORK SHOP 建設の大巾な遅延、相手国の受け入れ体制の不備等プロジェクト運営に係る本質的な問題点が少なく全般的に見て、専門家の尽力及びマレーシア政府、MARAの職業訓練に対する熱意によりセンター協力としての意義が充分果されているものと判断される。

特に、センター協力の効果については、MARAはマレー人の人的資源の開発並びに育成というマレーシア政府の目的に基づいて設立されているためその土台がしっかりとしている事、又MARAの職業訓練に対する熱意等から見て協力効果の上る組織であると言えよう。

以下にMARAの職業訓練の概要を述べると、目的は、MARA設立の経緯に鑑み

- 1) 商業及び工業の分野に技術を持った17～25才位の人々を送り出すこと
- 2) 個人及び公共部門におけるマレー人(現住民-Bumiputras)の技術者の不足を解消すること
- 3) 各分野において既に技術を取得したり、取得しようとしている青年の技術及び能力を向上させること
- 4) マレー人(Bumiputras)により多くの雇庸の機会を与えたりあらゆる水準の多くのマレー人を創出すること

となっている。

予算面から見ると、現在概算要求資料作成中であるが、第三次五ヶ年計画におけるMARAの総予算は、約M\$ 900 millionで、そのうち奨学金も含んだ訓練部の予算は総予算の約56%に当る約M\$ 500 million、訓練校関係はM\$ 52.4 million、その内訳は土地購入費M\$ 2.4 million、機材費はM\$ 18.5 million、建設費は約M\$ 31.5 million となっている。

又、第三次五ヶ年計画でマレーシア政府は157千人の技能者の育成を計画しているが、MARAではそのうち約30%に当る技能者の育成を目標としている。

以上の目的及び目標に基づき、現在MARAの訓練部では 1) クアラルンプール職業訓練校、2) マラッカ職業訓練校、3) ペタリンジャ職業訓練校、4) スンガイベタニ職業訓練校、5) ジョホール職業訓練校、6) アロースター職業訓練校の6校を所管しており、さらに将来計画として、1976年に第二次五ヶ年計画において新設予定であったクアンタン、ルムットの各職業訓練校の設置、第三次五ヶ年計画(1975

年後期～1980年後期)中にクアラトレンガヌ, セレンゴール, ペナン(パターワース)に職業訓練校の新設を計画している。

なお, 現在の各訓練校のコースは, (クアラランブール, マラッカ, ジョホーバルは別記に付き省略)

① ペタリン ジャヤ (PETALING JAYA) 職業訓練校

- (a) Tailoring & Cutting
- (b) Dressmaking
- (c) Hairdressing/Beautician
- (d) Industrial Tailoring
- (e) Fashion Designing

② スンガイ ペタニ (SUNGAI PATANI, KEDAH) 職業訓練校

- (a) Architectural Draughtsmanship
- (b) Structural Draughtsmanship
- (c) Building Construction
- (d) Carpentry/Joinery
- (e) Furniture Making
- (f) Plumbing

③ アロー スター (ALOR STAR, KEDAH) 職業訓練校

- (a) Cement, Concrete and bricks
- (b) Carpentry/Formwork
- (c) Bar bending

となっている。

アロースター訓練校を除く他の5訓練校の大部分のコースは2年間で1コースの訓練期間としているが, アロースター訓練校のみは6カ月を1コースの訓練期間としている。

(訓練期間2年間の内訳はカンボンパンダン訓練校の項で述べる。)

なお, 上記各訓練校のコースの他訓練部では下記の on-the-job trainingを実施している。

- a) Bread making
- b) Gold/tin/copper smithing
- c) Furniture Making & Rattan
- d) Bamboo/Rattan Wearing
- e) Woodworking
- f) Ceramics
- g) Advanced Tailoring
- h) Timber & Allied Industry
- i) Batik Printing
- j) Heavy Engine driving
- k) その他必要とされるコース

となっている。

訓練生の待遇としては,

- 1) 生活費として月M\$ 80.00 が支給される。
- 2) 医療費は General Hospital などどの政府系病院でも無料となる。
- 3) 訓練生はグループ保険によって訓練期間中保険がかけられる。

等である。

入校資格

- 1) 3月1日で17～25才の人
- 2) マレーシア市民権を持っている人
- 3) 少なくとも数学，科学，マレー語（或いは英語）と職業の単位を持ち Lower Certificate of Education を取得した人
- 4) 数学，科学，マレー語（或いは英語）と職業の単位を持ち Malaysian Certificate of Education を取得した候補者には優先権が与えられる。
- 5) MARA 適正テストを受けなければならない。
- 6) 向上心を持っていないといけない。

上記条件を満たしたうえ、

MARA VOCATIONAL INSTITUTE EXAMINATIONS に合格するか或いは INTERMEDIATE LEVEL までは NATIONAL INDUSTRIAL TRAINING and TRADE CERTIFICATION BOARD EXAMINATIONS (NITTCB) に合格しなければならない。

なお、入校試験の倍率は12～3倍である。

Ⅲ-2. 供与機材の活用及び保管状況

供与機材の活用状況及び保管状況は概ね良好であり、特に保管に対しては十分な注意が払われている。

R/D記載の機材のうち、まだ購送が実施されていない機材に関して、MARA 側より購送の実現方強い要請があった。しかしながら調査団より当初計画額 61,000 千円より既に約 18,000 千円上回る機材を購送していること、新規設置費計上及び予算の承認取り付けの困難さ等日本側の事情を説明し、帰国後調査団として購送の実現方努力するが、場合によっては不可能な事態がある旨を述べ、MARA 側より了解を取り付けた。

各科の活用及び保管状況に関しては次の通りである。

(A) 電気科

RECORD OF DISCUSSIONS に記載されている供与機材のリストは電気機器の分解，組立て，修理，調整等を主な訓練内容としたものになっているが、現在 MARA クアラルンプール職業訓練校で行なわれている電気科の訓練内容は、電気工事（屋内配線），工場電気設備（配電盤）を主とした訓練内容であり、若干のずれがある。

電気機器に関する訓練をさらに充実させる重要性は MARA も主張するところであるが、①カウンターパート養成が十分でなかったこと、②今まで電気機器の普及が

十分でなかったことにより修理（メンテナンス）等が、職として確立していなかったこと、③人種間の問題（中国人系が経済面を独占していたこと）等の理由によって MARA 職業訓練校に取り入れることが遅れてきたものと思われる。

しかしながら、カウンターパートの養成についてはすでに日本での研修を2名が修了（昭和50年3月）し、MARA クアラルンプール職業訓練校の指導員として勤務しており、さらに日本人専門家の指導を受けているところである。かつ、50年度として電気科2名のカウンターパートを日本に派遣し研修を行うこととなっている。

MARA としても、来年度より電気機器に関する訓練をより充実させる方向で訓練内容に編込むべく検討されているところであり、その時点で判断するならば、その活用は十分期待されるところである。

(B) 電子科

現在マレーシアではカラーテレビ放送が行なわれておらず、来年度より開始されるべく準備中である。供与機材のなかにカラー用のものも含まれて購送されているが、現状で判断するならば、レベルが高く使いこなされていないようである。しかしながら、今後の活用は十分期待されるところであり、さらに職業訓練校でカラーの技能を習得するというような、まさに今後の中堅技能者を養成するという役割が期待されるであろう。

供与機材の全体のレベルが現状から判断して高すぎるものもあるが、誘導を伴う先行投資ということにおいて、その意義は認められるところである。

機材の保管については、各 work shop に格納室を設けると同時に、集中格納室を設け、専任の貸出し係を置いて保管されている。保管はよく行なわれているが、電気科においても同様に、機材にすべて保険がかけられており、また、修理が国内で十分できない機材もあって取扱いが慎重になりすぎて、その活用にマイナスになっている面が若干見受けられた。

III-3. 専門家の活動状況

月に2回指導員研修で本年4月から定期的にカンボンパンダン訓練校に出向いている他は、主に本部にてシラバスの作成、カリキュラムの作成等の助言に従事している。

特に、シラバスに関しては専門家のドラフトを土台にし委員会を編成して、マレーシアで初めて作成されたものである。

最近、専門家が第三次五ヶ年計画に予定されているプロジェクトに対し協力を要請される事が多くなってきており、更に在マレーシア日本大使館、企業等との連絡や接触に協力させられることも多いようである。

指導員の養成に関しては、日常指導員が授業を担当していること、又、授業が4時

に終了するものの6時から回教徒の礼拝のため全員帰宅することから週日における指導員の訓練は困難な状況にある。

従って、土曜日に指導しなければならない状況であり、日によっては出席率が悪く十分な指導が出来ない場合もある。

以上のように、当初計画していた専門家の役割り及び業務は十分に果しており、又、両専門家共各自適正を十分に生かしつつ互いに尊重し合い、又、それが協力効果をより充実させるものとなっている。

Ⅲ-4. カウンターパートの育成及び受け入れ状況

現在、電気科の指導員は17名おり指導員として西独で研修を受けた者は8名、英国では5名、日本では49年度指導員養成コースで2名、その他I. T. I. (Industrial Training Institute)で2名となっており、電子科の指導員は11名で、英国で研修を受けた者は3名、西独では1名、印度、西独で1名、印度、伊国で1名、I. T. I. で5名となっている。

指導員に関する専門家の一般的印象は、現在ある機材は使いこなせるが特殊な機材はまだ未だであり又、基礎知識の不足、経験年数の不足のため応用がきかず、電気機器の取扱い、修理に弱いようである。また、実技と学科の有機的結合、さらに体系だてた訓練項目の組み立てなどにまだ充分とは言えない。

日本で研修を受けた指導員は主に電気機器の修理、保守、保全にあたり、上記の様に全般的に指導員が電気機器の取り扱いに未熟な現在、日本での研修は非常に有益なものとなっている。なお、日本での研修を受けたカウンターパートの意向としては、訓練計画の中に企業での実習時間を増やして欲しい旨要望があった。

又、各コースに主任指導員1名づつ配置されているが、業務としては指導員の指導方法のチェック及び監督に当たっている。

今後のカウンターパートの受け入れについては、MARAでは第三次五ヶ年計画中に指導員500名の確保を予定しており(現在約130名)、そのためにも1973年署名のR/Dでマ側より要望されている指導員14名全員の日本での研修は、ぜひとも実施して欲しい旨述べている。

又、50年度で研修要請フォームを提出し、不可能となった電気メッキの研修については、現在電気メッキ科をジョーホーバル訓練校に開設予定であるが電気メッキの指導員がMARAにいないため、クアラルンプール職業訓練校電気科の指導員を日本で研修させ同コースの開設に当らせる予定である。従って、もし電気メッキの日本での研修が困難であるならば指導員養成コースで電気科の研修をさせ、実習段階で電気メッキの研修を受けさせるか、或いは指導員養成コース等で日本語だけ受講し、その後職業訓練校で電気メッキの研修を実施して欲しい旨強い要請があった。

調査団の見解としては、MARA 側の意向及びカウンターパート育成の必要上からも残り 8 名受け入れの実施は実現すべきであると判断される。

Ⅲ-5. 専門家の要望事項

- ① General Circular No.1 は 1969 年に制定されたものであるため、住宅手当等実情に合わなくなってきたので改正を働きかけて欲しい。
- ② 休暇が年 14 日しかないため増加して欲しい。
(I. L. O. の専門家は年 60 日)
- ③ 出張旅費が I. L. O. の専門家と差がありすぎる。
(I. L. O. の専門家は 1 泊 1 日 US\$ 50.00, 日本人専門家 US\$ 30.00)
- ④ 専門家の身分、位置づけが不明確である。
(Adviser なのか, Technical Officer なのか, MARA における専門家なのかクアラルンプール訓練校の専門家なのか)
- ⑤ 供与機材には、日本国政府供与を示すプレートを付けて欲しい。
- ⑥ 専門家の赴任時の受け入れ態勢が整備されていない。
(住宅, 車等専門家が赴任してから独自で捜さなくてはならない)
- ⑦ 派遣前のオリエンテーションが不足。
(物価, 住宅事情, 国民性等の任国事情, 所属機関のオリエンテーションを実施して欲しい。又, 派遣中専門家に年 1 回程度任国事情等のアンケートを実施したり, 或いはオリエンテーション時に帰国専門家を招いて実施して欲しい)
- ⑧ 着任時のオリエンテーションがない。
(J. O. C. V. では着任時に約 1 週間任国事情等のオリエンテーションを実施しているが, 専門家の場合なされていない様なので実施して欲しい)
- ⑨ 調査団に訓練校の Senior Instructor 等の現場の専門家を参加させて欲しい。
- ⑩ 安全標語等のポスター, パンフレット, 専門家の実績表, 機材総合カタログ等を送付して欲しい。
- ⑪ カウンターパートの研修内容に TWI を取り入れて欲しい。

Ⅲ-6. 調査団所感

(1) 訓練計画について

訓練目標に向かって体系的・段階的訓練が積極的に進められつつあり、今後の発展が期待される。しかしながら、今後の課題として手順としての訓練技法の開発(指導の単位, 指導案, 作業分解, 指導の進め方, 視聴覚設備の導入等)並びに統合された訓練計画の導入が必要となって来るであろう。

(2) レイアウトについて

実習場が細かく work shop ごとに分かれているが、細分されすぎているきらいがある。また2階の実習場にステージ、チェインブロックの設置等の荷揚げに対する考慮がなされていない。

(3) 実習環境について

work shop（特に電子科）に使用機器との関係でクーラーを設置する必要がある。また集中計器管理室にクーラーが設けられているが、外部としゃ断されておらず、シーリングを施すことによって、より効率を上げることができるものと思われる。

(4) 安全作業について

訓練生の作業服，安全靴，保護具の着用等安全に配慮し，さらに感電を防止するためにもメインスイッチの管理を十分に行なうことが望まれる。

(5) 機材の管理について

集中計器管理室で一部の機材を専任のものが保管しているが，機材を各 shop で責任を持って管理させることも検討する必要がある。

(6) その他

ティータイムの時等において指導員が実習場を離れているのに，訓練生が実習を自分で行なっているのが見受けられた。このようなことは事故等につながる恐れもあり，指導員のあり方として今後検討されるべきであろう。

又，実習中に指導員がつきっきりで付添い事故の防止に充分留意する必要がある。

IV. クアラルンプール職業訓練校概要

クアラルンプール職業訓練校

所在地：JALAN BELANGKAS, KAMPONG PANDAN, KUALA LUMPUR

設立：1974年2月1日

同校は、クアラルンプール市カンポンパンダンに卒業後すぐに職業につく事が出来る様な技能者を育成する事を目的として、61,736m²の敷地に建設され1974年2月1日より訓練を開始している。

WORK SHOP は完成しているものの、機材がないため訓練が開始されていないコースもあるが、多くのコースは目標に向かって進んでいる様に見うけられた。

現在、既設のコースは別表IV-②の様に9コースあり、訓練生数は241名、指導員数は45名前後となっている。

訓練生の約95%はクアラルンプール市外の出身のため、敷地内の空地に寄宿舎を建設中である。現在本館の一部を仮寄宿舎として利用しているが、建設中の寄宿舎が完成後は現在の仮寄宿舎は訓練生の作品を展示するSHOW ROOMにする予定である。

MARAの職業訓練校の学期別訓練計画をクアラルンプール訓練校の別図IV-④に従い説明すると、アロースター訓練校(6ヶ月間コース)、及び各訓練校の電子科、鑄造科等の特別なコースを別にすると、通常第一学期(6ヶ月間)に数コースをまとめてCOMMON CORE PROGRAMMEを設け、数コースの実技及び学科を訓練し、その後各訓練生の適正、希望、作業態度を考慮して各コースに振り分けられる。

第二学期(6ヶ月間)においては、各コースの基礎的訓練を受ける。この第二学期終了後にNITTCB(NATIONAL INDUSTRIAL TRAINING & TRADE CERTIFICATION BOARD)のBASIC LEVEL TRADE TESTがあり、これに合格すると次の第三学期に進むことが出来る。

もし、このTESTに失敗したならば1カ月間のINTENSIVE TRAININGを受け再度受験することが出来るが、二度失敗した場合は放校になる。本年6月1日に行なわれたテストでは同校の電気科の訓練生32人が受験し、失敗したものは6人で合格率は約81%となっている。ちなみにジョホールバル訓練校の合格率は約96%、スンガイペタンは約80%となっており労働・人力省所管のI. T. I. (INDUSTRIAL TRAINING INSTITUTE)は20~30%位とのことでMARAの場合非常に高い合格率を誇っている。

第三学期(6ヶ月)は、IN-PLANT TRAININGで第四学期(6ヶ月)は中級程度の訓練を受け、終了後NITTCBのINTERMEDIATE LEVEL TRADE TESTを受験する。

2年間職業に就いた後、ADVANCED LEVE TRADE TESTを受験でき、その合

格者は、自営もできるしMARAの訓練校の指導員にもなることができる。

なお、これらの各テストに合格するとCERTIFICATE（証明書）が与えられる。

クアラルンプール訓練校の卒業後の就職先及び進学先は別紙の通りであるが、就職率は100%とのことである。

同校の卒業生の給料は月大体M\$ 250～300位で2～3年たつとM\$ 650～670位になるとのことで技能を持たない労働者は月M\$ 80前後、熟練労働者はその程度によりM\$ 220～M\$ 600 前後とのことである。

N-① 調査団専門員に対するクアラルンプール職業
訓練校の回答 (No. 1)

VOCATIONAL INSTITUTE

Please indicate as fully as possible

1. **Location:** Jalan Belangkas, Kampong Pandan, Kuala Lumpur
2. **Date of inauguration:** 1st February, 1974
3. **Objective & Character of establishment:**
To train skill workers for immediate employment
4. **Qualification of trainees:** either of these
 - 1) Lower Certificate of Education
 - 2) Malaysian Certificate of Education
 - 3) Malaysian Vocational Certificate of education with credit in Math, English and Science.
5. **Organization:** (including number of staffs)
See attached chart (IV-3)
6. **Trainee's native place:**

a) environs	5 %
b) inner place of state	30 %
c) West Malaysia	65 %
d) whole country	100 %
7. **Instructor's native place:**

a) environs K.L. Area	2 %
b) inner place of state East Malaysia	9 %
c) West Malaysia	89 %
d) whole country	100 %
8. **Number of trainees, by previous record:**

a) agriculture	Nil
b) mining	Nil
c) industry	Nil
d) graduates from Lower Secondary School	40 %
e) others graduates from Upper Sec. School	60 %
9. **Number of instructors, by educational background:**

a) Lower Secondary	Nil
b) Upper Secondary & Secondary Technical	48 %
c) Pre-University	Nil
d) University	Nil
e) others	-
10. **Facilities:**

a) site area	61,736 m ²
b) floor area	11,251 m ²

- c) work shop area 17,516 m²
- d) structure of main building: Reinforce Concrete
- e) structure of work shop: Reinforce Concrete & Steel Structure
- f) dormitory m²
- g) main training machinery & equipment
 - 1. Electrical Equipment
 - 2. Electronic Equipment
 - 3. General Mechanical Machinery
 - i. Hand Tool
 - ii. Precision Instruments
- h) text book & teaching material (ex. audio-visual facilities etc.)
 - 1. Relevant reference books for all trades
 - 2. Over head projector
 - 3. Slide projector

11. Graduates:

- a) rate of the employed to the graduates 100 %
- b) name of employers (type of employment)
 - 1. Private Firms
 - 2. Government department
 - 3. Statutory body
 - 4. Own business
- c) effects of training
Very successful

12. Technical cooperation to the Institute by other donors then Japan:

- a) name of country
 - 1. United Kingdom
 - 2. United States of America
- b) type of cooperation
 - 1. Technical training and equipment.
 - 2. Volunteers
- c) experts (courses, number, status etc.)
Nil.
- d) volunteers (courses, number etc.) from U.S.A.
 - 1. Leyland Towle (Electrical)
 - 2. Dick Bacigalupic (Air Cond & Refrigeration)
- e) machinery & equipment
From United Kingdom for Mechanical Department.

13. Outline of the city where vocational institute is located:

- a) population approx. 800,000
- b) main industry Metal works and mix industry
- c) other related information

14. Number of trainees, by age:

a)	under 15	Nil
b)	15 ~ 17	15 %
c)	18 ~ 21	80 %
d)	22 ~ 24	5 %
e)	25 and over	Nil

15. Number of instructors, by age:

a)	under 25	4
b)	25 ~ 30	28
c)	30 ~ 35	14
d)	35 ~ 40	1
e)	41 and over	1

16. Others: (ex. economic & social background of the Institute etc.)

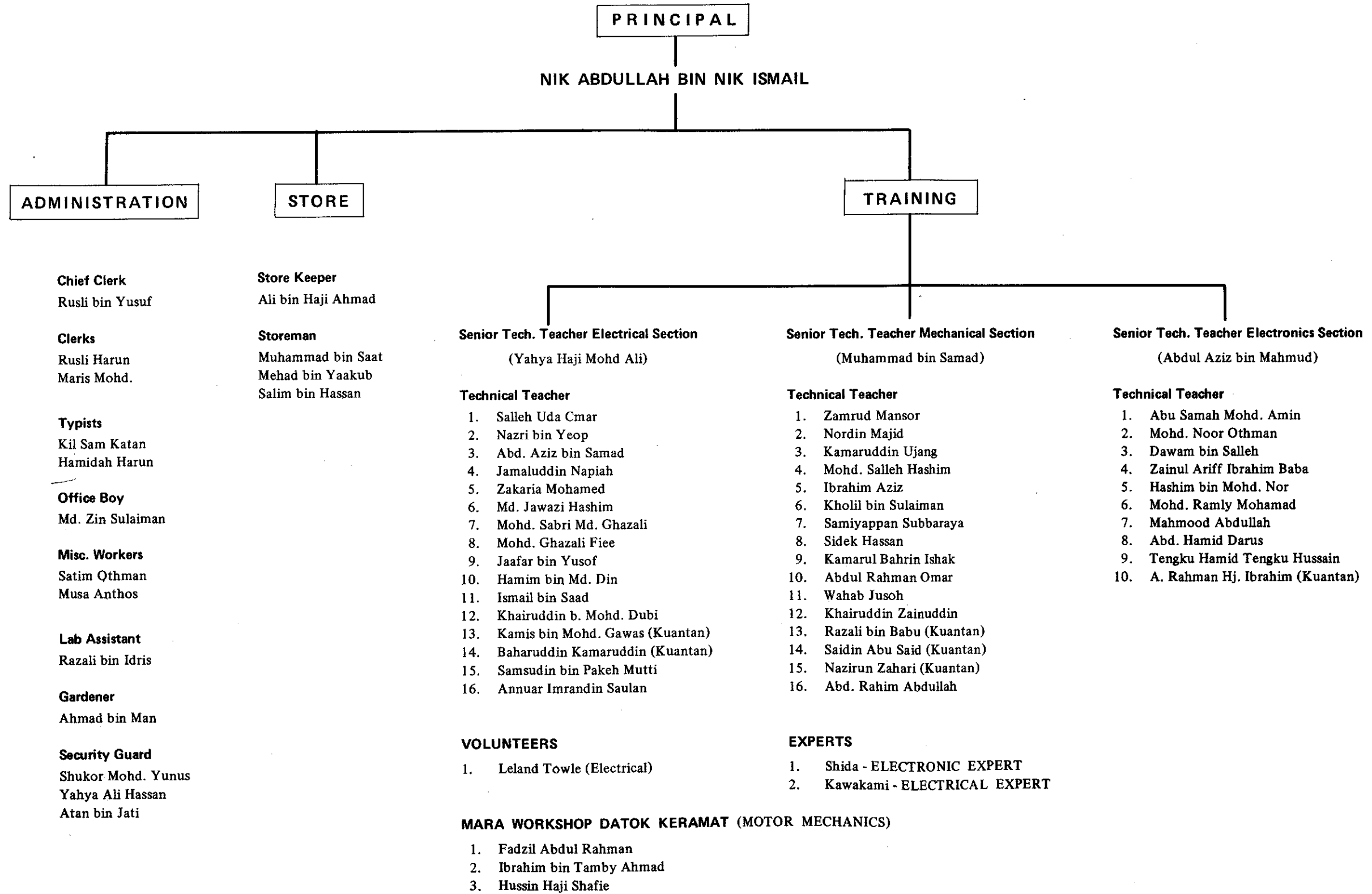
A statutory. Receiving full cooperation from Government and Private Bodies in the form of In Plant Training Facilities.

N-② 調査団専門状に対するクアラルンプール職業
訓練校の回答 (No. 2)

	TYPE OF VOCATIONAL TRAINING	TRAINING COURSE	PERIOD OF TRAINING	NUMBER OF TRAINEES, BY SEX		NUMBER OF INSTRUCTORS	TRAINING HOURS PER DAY	PRACTICAL — THEORETICAL TRAINING RATIO	CONTENTS OF SUBJECTS
				(Male)	(Female)				
PRESENT SITUATION	Electrical Industrial and Domestic		2 years	61	1	14	(per year) 8 (1760) hrs.	70 : 30 %	According to Wireman Nil Certificate
	Electronic	Radio & T.V.	- do -	54	10	10	- do -	- do -	Radio & T.V. repairing
	Welding	Gas and Arc	- do -	21	Nil	2	- do -	- do -	Gas & Electric Welding & Fabricating
	General Mechanics		- do -	12	Nil	3	- do -	- do -	General Mechanic Works
	Mechanical Drafting		- do -	28	4	3	- do -	- do -	To train skill draftsman
	Motor Mechanics		- do -	40	Nil	3	- do -	- do -	Maintenance of Motor Vehicles
	Machining	Turning & Machining	- do -	Nil		6	- do -	- do -	To train skill machinist
	Sheet Metal		- do -	Nil	Nil	1	- do -	- do -	For skill sheet metal worker
	Air Condition & Refrigeration		- do -	10		2	- do -	- do -	Maintenance and repair
				(226)	(15)	(44)			
FUTURE & EXPANSION PROGRAMME	General Electronic		2 years			Nil			
	Digital Electronic & Pulse Technique-Instrumentation, communication & control system								
	Electro Plating		12 months			Nil			
	Foundary					1			

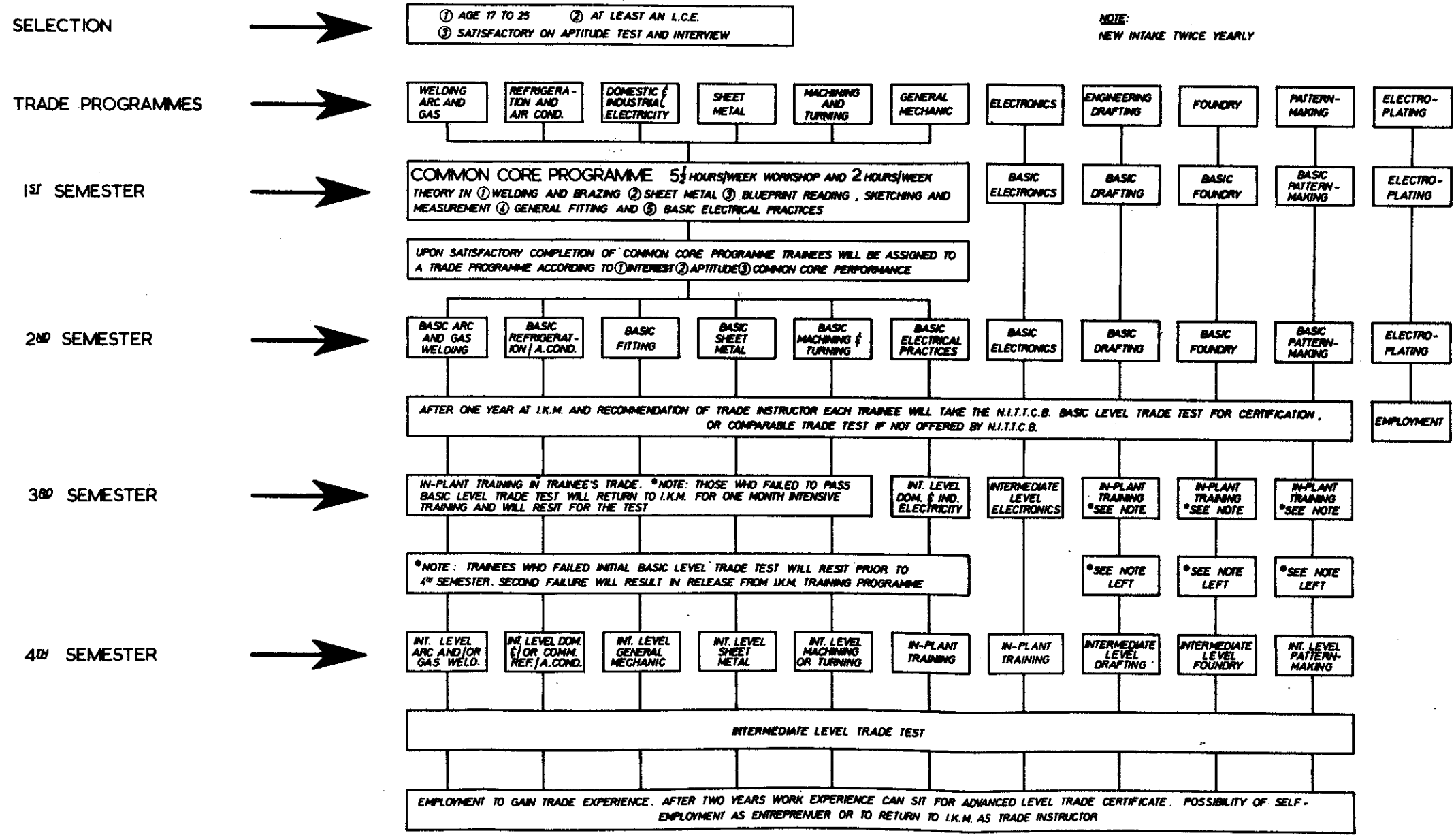
CONTENTS & OBJECTIVE OF TRAINING COURSE	BACKGROUND OF TRAINING COURSE	OTHER RELATED INFORMATION
<ol style="list-style-type: none"> 1) To train skill worker and technician for immediate employment. 2) To train more Bumiputra in Engineering fields either to open their own business or to work in industries. 3) To give as well as to promote correct work attitude and habit. 	<ol style="list-style-type: none"> 1) Training Curriculum is designed to suit local Industrial requirement. <ol style="list-style-type: none"> 1. To qualify for the National Industrial Training and Trade Certification Board (NITTCB) Basic & Intermediate Grade. 2. To sit for the City and Guilds of London Institute. 3. To qualify for Wireman NIL restriction certification from National Electricity Board of Malaysia. 	<p>Intake of trainees</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) Based on the requirement of Industries. 2) Up grading course is also conducted according to the requirement.

ORGANIZATION CHART OF INSTITIUT KEMAHIRAN MARA
KUALA LUMPUR



INSTITIUT KEMAHIRAN MARA KUALA LUMPUR

STUDENT FLOW CHART



N-⑤ クアラルンプール職業訓練校電気科訓練生就職先及び給料

INSTITIUT KEMAHIRAN MARA
KUALA LUMPUR

Kedudukan Bekas Pelatih-Pelatih Letrik yang Keluar
Tahun 1974

Bil.	Nama	Tempat Kerja	Gaji
1.	Murad bin Ahmad	K 4 Engineering, Selayang	Berniaga
2.	Aini bin Weng	P.C.R. Kuching	\$300.00
3.	Latif bin Sapong	P.C.R. Kuching	\$300.00
4.	Ismail Jamaluddin	Lembaga Bandaran P.Jaya (Percubaan)	\$150.00
5.	Mohamad bin Bakar	- sama -	\$150.00
6.	Rahim bin Yaacobe	Penang Electronics	\$250.00
7.	Mariam bt Yasin	P.C.R. Wisma Damansare	\$250.00
8.	Nik Mas Hj. Nik Jaafar	Telecom Kota Bharu	\$220.00
9.	M. Nor bin Jusoh	Ambadi Engineering Shah Alam	\$200.00
10.	Ibrahim Pain	- sama -	\$200.00
11.	Omar Rahmat	Bata Kelang	\$300.00
12.	M. Amran b. M. Anuar ⁹	Hilton Hotel	\$200.00
13.	Salmah bt Harun	Siemens Electronics Melaka	\$200.00
14.	Noor Rudin	Syarikat Le trik Seremban	\$200.00
15.	Jaman bin Wakijan	Sabah	-
16.	Sapin bin Lamat	Sabah	-
17.	Wahab bin Andot	Sabah	-
18.	Aris bin Abdullah	PKNS Petaling Jaya	\$250.00
19.	A. Latiff b. Mohamad	Ampang Complex	\$150.00
20.	Mohamad bin Ibrahim	KIMA Kajang	\$160.00
21.	Ahmad bin Baharom	Latihan Chargeman L.L.N.	\$175.00
22.	Baharudin bin Man	- sama -	\$175.00
23.	A. Rani bin Osman	- sama -	\$175.00
24.	A. Rahim b. M. Ali	- sama -	\$175.00
25.	M. Daud b. M. Yusof	- sama -	\$175.00
26.	Wan Mohd. Fadzil Wan Hussin	- sama -	\$175.00
27.	A. Aziz Hanif	- sama -	\$175.00
28.	Basharudin M. Nor	- sama -	\$175.00
29.	Miur Zabidin b. Ishak	- sama -	\$175.00
30.	Othman bin Mohamad	- sama -	\$175.00
31.	Puteh bin Sulaiman	- sama -	\$175.00

IV-⑥ クラランプール職業訓練校電子科訓練史就
職先及び住所

INSTITIUT KEMAHIRAN MARA
KUALA LUMPUR

SENARAI PENUNTUT-PENUNTUT LEPASAN
INSTITIUT KEMAHIRAN MARA, K. LUMPUR
JUN, 1974

S/No.	Nama	Alamat	Kursus	Catitan
1.	Bajuri bin Roslan	Block S, Sawah Sempadan, Tg. Karang, Selangor.	Electronic	Technician di NISIR
2.	Zainuddin bin Keling	Batu 20 ³ / ₄ , Jalan Chinchin, Jasin, Maleka.	"	
3.	Wan Yusof bin Wan Mohamad	632, Kg. Beladau Kolam, Kuala Trengganu, Trengganu.	"	Latihan Lanjutan di Limbongan MARA, Trengganu
4.	Edward Herman Majangging	d/a Sabah Ports Authority, Kota Kinabalu, Sabah.	"	
5.	Louis Ginturun	P.O. Box 88, Kota Kinabalu Sabah.	"	
6.	Durahman b. Ludin	d/a Rumah Sakit, Labuan, Sabah.	"	
7.	Mohamad Jali bin Serudin	P.O. Box 202, Labuan, Sabah	"	
8.	Azari bin Pawzy	d/a Kastam Bi Raja, Lahad Datu, Sabah.	"	
9.	Awang Damit bin Rashid	d/a S.R.K. Binuang, Lahad Datu, Sabah.	"	Technician di Philip, Sabah.
10.	Sapuan bin Uteh	Kampung Pasir Pandut, Kuching Sarawak.	"	
11.	Sulaiman bin Jurut	Kg. Penapak, Limbang, Sarawak.	"	
12.	Ismail bin Ibrahim	No. 182-B, Kg. Masjid, Dato Road, No. 1, Kuching, Sarawak.	"	
13.	Eboy bin Elin	Kg. Belawi, Serikei, Sarawak.	"	
14.	Mathews Chuat Ak Seribu	Telok Seribu, Sg. Tada, Kanowit, Sarawak.	"	Technician di Philip, Sagah.
15.	Othman b. Hj. Karim	Kampong Ketuba, Kememeh, Baling, Kedah/Lot 12, Petaling Bahagian, Kuala Lumpur.	"	
16.	Azmi bin Zaini	Parit 2A, Sg. Manek, Telok Anson, Perak.	"	Technician di Redifussion, K.L.
17.	Ramli b. Mat Isa	d/a Batu 4, Kubang Gajah, Arau, Perlis.	"	Melanjutkan pelajaran ke Poly-Teknik Engku Omar.
18.	Zakaria bin Baba	No. 40, Jalan Hijau, Taman Kg. Kuantan, Kelang.	"	Technician di Toshiba Shah Alam
19.	Hamzah. b Abd. Rahman	Parit Raja Laut, Jalan Abdul Rahman, Muar, Johor.	"	
20.	Mohd. Yusof bin Hj. Ahmad	770, Ptg. Sungei 2, Kepala Batas, Province Wellesly.	"	Technician di Regent Hotel K.L.
21.	Md. Ali bin Md. Noor	135, Jalan Menara, Terendak Kem, Melaka.	"	Berniaga Sendiri
22.	Ishak bin Man	Kg. Lubok Ular, Bt. Junun, Kedah.	"	
23.	Che Hashim bin Che Musa	Simpang 3, Kg. Kijang, Jalan PCB, Kota Bharu, Kelantan.	"	Technician di Philip. P. Jaya.
24.	Ainah bt Abdul Samad	Jalan Tanah Merah, Rengit, Batu Pahat, Johor.	"	

S/No.	Nama	Alamat	Kursus	Catitan
25.	Rosli b. Hashim	519 Mk. 3, Sg. Rusa, Balik Pulau, Pulau Pinang.	Electronic	Sudah bekerja di Motorola Petaling Jaya.
26.	Kamaruddin bin Hashim	Kg. Lubok Merbau, Kuala Kangsar, Perak.	"	- sama -
27.	Mohd. Jaafar bin Alwi	H49, Jalan Seremban, B23, Tg. Ipoh, Negeri Sembilan.	"	- sama -
28.	Haron @ Binil bin Ahim	Kg. Sebukang, Limbang, Sarawak	"	
29.	Zainal bin Zain	Kg. Lubok Kawah, Temerloh, Pahang.	"	Latihan Lanjutan di Limbongan MARA, Trengganu
30.	Mohd. Azzizol bin Kamaruddin	97, Jalan Menara, Terendak Kem, Melaka.	"	Technician di UDA
31.	Hanizuman bi Datali	Peti Surat 1439, Kota Kinabalu Sabah.	"	
32.	Omar bin Rahmat	T.B.G. 226, Telok Pulau, Kelang, Selangor.	Electrical	
33.	Mohamad b. Ibrahim	No. 111 Jalan Pantai, Kuala Trengganu, Trengganu.	"	Gagal
34.	Puteh b. Sulaiman	No. 97, Jalan 18/16B, Kg. Sentosa (Petaling) Kuala Lumpur	"	Chargeman di L.L.N.
35.	Abdul Latiff bin Mohamed	12, Jalan 13, Brown Garden, Gelugor, Pulau Pinang.	"	
36.	Salmah bt Harun	Kg. Simpang 4, Alor Gajah, Melaka.	"	
37.	Md. Noor Rudin bin Hussin	Bt. 19, Jalan Seremban, Tg. Ipoh, Negeri Sembilan.	"	
38.	Ibrahim b. Pain	23, Kg. Lebu, Bentong, Pahang	"	Electrician Ambadi Shah Alam.
39.	Mariam bt Yassin	Bt 20 1/2, Durian Daun, Masjid Tanah, Melaka.	"	
40.	Nik Mas bte Hj. Nik Jaafar	Kg. Larak, Kota Bharu, Kelantan.	"	
41.	Mohd. Amran bin Mohd. Anuar	32, Jalan Dato Keramat, Kuala Lumpur.	"	Gagal
42.	Abdul Aziz bin Hanif	84, Kg. Jambu, Taiping, Perak.	"	Chargeman di L.L.N.
43.	Che Md. Nor bin Jusoh	650, Tanjung Che Mas, Tumpat, Kelantan.	"	Electrician di Ambadi Shah Alam
44.	Rahim b. Yaacobe	64G, Kampong Perlis, Bagan, Lepas, Pulau Pinang.	"	Chargeman di L.L.N.
45.	Baharudin b. Man	No. 26, Jalan Lapangan Terbang, Sg. Rapat, Ipoh, Perak.	"	Electrician di KIMA
46.	Abdul Rahim bin Mohd. Ali	Kg. Kuang Hilir, Chemor, Perak.	"	Chargeman di L.L.N.
47.	Mohd. Daud bin Mohd. Y Yusoff	Malakoff Estate, Kepala Batas, Seberang Prai Utara.	"	- do -
48.	Othman b. Mohamad	Bt. 1/4 Jalan Pengkalan Chepa, Kota Bharu, Kelantan.	"	- do -
49.	Aris b. Abdullah	Kg. Belukar, d/a Bt. 7 1/4, Jalan Kaki Bukit Beseri, Perlis.	"	Electrician di PKNS
50.	Murat @ Murad bin Mohd @ Ahmad	Lot 2, Lorong 11, Selayang Baru, Selayang, Selangor @ 1494, Permatang Sungai 2, Kepala Batas, Butterworth, P.W.	"	Berniaga Sendiri
51.	Mohd. b. A. Bakar	445, Telok Menara Manir, Kuala Trengganu, Trengganu.	"	

S/No.	Nama	Alamat	Kursus	Catitan
52.	Ismail bin Jamaluddin	968-U, Rumah Pangsar Polis, Wakaf Mek Zainab, Kota Bharu, Kelantan.	"	
53.	Wan Mohamad Fazil bin Wan Husin	Batu 4, Jalan Kurong Batang, Perlis.	"	Chargeman di L.L.N.
54.	Miur Zabidin bin Ishak	Kg. Tanjong, Gelugor, Bota Kanan, Parit, Perak.	"	-do -
55.	Abdul Rani bin Osman	1508, Jalan Besar, Nibong Tebal, Seberang Prai.	"	-do -
56.	Basaruddin bin Mohd. Noor	Kampung Kota, Bruas, Perak.	"	-do -
57.	Ahmad b. Baharom	2323, Rumah Guru, Masjid Tanah, Melaka.	"	-do -
58.	Latiff bin Sapong	Kg. Lubok Lasas, Limbong Datu, Sarawak.	"	Electrician Draughtsman-ship di PCR.
59.	Aini bin Waini	554, Jalan Patinggi Alli, Kuching, Sarawak.	"	Electrician Draughtsman-ship di PCR.
60.	Jaman b. Wakijan	T'NT'C' Ladang Bangawan, Sabah.	"	
61.	Sapin b. Lamat	Kg. Kiulu, Tamparuli, Sabah.	"	
62.	Wahab b. Andot	Kg. Sungai Labu, Labuan, Sabah.	"	

V. 日本に対する援助要請プロジェクト
及び各職業訓練校の概要

ジョーホール職業訓練校、マラッカ職業訓練校の現地調査は、MARA本部での第1回打ち合わせの席上で、MARA側よりジョーホール訓練校に対する日本のセンター協力を要請しているため視察をして欲しい旨要望が出された。

当調査団としては、49年度繰越予算でもってMARAに対するセンター協力の可能性を調査する調査団の派遣を計画している折、今後の協力に際しての情報を得るためにMARA側の要望を受け入れた方が良くと判断し、あくまでも情報収集を主目的とする旨の了承を取り付けた上で現地調査を行なった。

その概要は次の-1, -2, -3の各項で述べるが、調査団の見解としては、ジョーホール訓練校の三コースは51年1月開設予定であり、又第三次五ヶ年計画が今秋(10~11月頃)にもスタートする予定であるので、出来るだけ早い時期に協力の可能性を調査する事前調査団を派遣し、MARA側に日本側の感触を伝えた方がよいものと判断される。

V-1. ジョーホール職業訓練校の概要

所在地：JALAN TARUKA, OFF JALAN LARKIN LAMA, JOHOR BHARU

設立：1973年8月

概要

現在溶接科用のWORK SHOP 等一部建屋が完成しているものの大部分の建屋は42.5エーカーの土地に建設中である。

本訓練校の特色はMARAの他の訓練校と違い、STATE GOVERNMENT との協力により実施されている点にある。すなわちジョーホール州が42.5エーカーの土地を提供し、MARAは建設費(M\$3.5million)、機材費(M\$2.0million)及びスタッフを負担している。又、現在訓練生600名用の寄宿舎も併せ建設中である。訓練生数は1980年には800名予定している。

訓練コース

同校で^{開設}計画している訓練コースは溶接科のみで、本年7月からは機械製図科が開設される予定である。

- (a) Welding
- (b) Industrial and Domestic Wiring
- (c) General Mechanics
- (d) Mechanical Draughtsmanship
- (e) Machining and Turning
- (f) Sheet Metal
- (g) Motor Mechanics
- (h) Air-Conditioning & Refrigeration

- (i) Radio & Television Mechanics
- (j) Marine Mechanics
- (k) Electroplating
- (l) Agro-Heavy Machinery

第三国援助

現在同校に専門家及び Volunteer はいないが、溶接科には近々 U. S. A. の Volunteer 1 名赴任の予定である。

機材に関しては、上記(c), (e), (f), (g)の 4 コースに英国の機材供与実施予定である。

V-2. マラッカ職業訓練校の概要

所在地：JALAN HANG TUAH, MELAKA

設立：1968 年

概 要

同校は MARA 所属の訓練校のうち一番最初に設立された訓練校で、現在市の中心に位置し、敷地面積は 1 エーカーと狭いため 1978 年に土地、建屋、機材費も含めた総費用 M\$ 20 million で 50 エーカーの土地に移設予定である。

同校のスタッフ、指導員、訓練生数は現在各々 51 名、12 名、340 名で第三次五ヶ年計画の終了する 1980 年の予定では各々 143 名、100 名、1,200 名の予定である。

訓練コースは

- (a) MOTOR VEHICLE MECHANICS
- (b) MECHANICAL DRAUGHTSMANSHIP
- (c) GENERAL MECHANICS
- (d) WELDING
- (e) AUTOMOBILE SPRAY PAINTING & PANEL BEATING
- (f) POWER MECHANICS

ある。

新規建屋(1976年から建設開始)に移設した時、AUTOMOBILE 関係の指導員養成、カウンターパート受け入れ、機材供与等の協力を日本側に要請したいとのことである。

同訓練校に対する調査団の一般的印象としては、WORK SHOP のレイアウト等に充分配意して建設しており、又各実習室には訓練生の訓練進度表及びその成績が掲示されている等調査を行なった他の訓練校に比して工夫の跡が見うけられた。

V-3. 日本に対する援助要請プロジェクトの概要

日本に対する援助要請プロジェクトは本年 5 月 22 日付公信で見られる様に、

(a) Welding, (b) Marine Mechanics, (c) Electroplating の三コースで各コースの訓練期間は2ケ年でその概要は次の通りである。

(a) Welding 現在同コースのうち general welding course が実施されているが、同コースは薄板(5mm程度まで)の溶接を主としており、日本に対する要請は造船用の厚板溶接である。

同コースは1976年1月1日コース開設をめぐりWORK SHOP 建設中であり、訓練生数は1976年1月1日から每期(1月1日, 7月1日)14名募集予定で、指導員は現在3名おり、将来5名に追加する予定である。

同コースでは1名のU. S. A. Volunteer 以外専門家、機材供与等の援助を日本以外には要請していない。

要請の背景としては、近年船舶の修理等の需要が増加し、さらにジョーホールにマレーシア政府、住友重機、INTERNATIONAL MARITIME CARRIERS Ltd.(香港)、KUOK BROTHERS SDN. BHD.(シンガポール)との合併でMALAYSIA SHIPYARD & ENGINEERING SDN. BHD. を設立し1976年7月開設をめぐりドックを建設中である。同社は40万DWT, 14万DWTのDRYDOCKを持ち、開設後5年間は主に修理関係、その後新造船建設を行う予定で、技能者を1974年から1年間AOTS(海外技術者研修協会)を通じて住友重機で研修している。

なお、公信による派遣要請専門家は1976年1月より1名、2年間、機材費は1976年5月までにM\$350,000.00(約4,500万円)となっている。

(b) Marine Mechanics 同コースは1976年1月1日開設をめぐりWORK SHOP 建設中であり、訓練生数は1月1日より每期14名(6ヶ月毎に募集)ずつ募集予定で指導員は2名である。

同コースの予定ではMarine engineの修理、メンテナンス関係で最大200馬力程度のものを予定している。

要請の背景としては、同国の小型船舶(特に漁船)の約90%がヤンマー・ディーゼル株式会社のエンジンで占められており、その修理、メンテナンス関係の技能者の需要が逼迫していることと雇用の機会の新規分野の開拓にある。

なお、公信による派遣要請専門家は1976年1月より1名、2年間、機材費は1976年5月までにM\$300,000.00(約3,800万円)となっている。

(c) Electroplating 同コースは1976年7月1日開設をめぐりWORK SHOP 建設中であり、訓練生数は7月1日より每期14名(6ヶ月毎)ずつ募集

予定で指導員は2名である。

要請の背景としては同国では技能者の需要はあるものの現在シンガポールに依存しているため新たに雇用機会の開拓を計ることにある。

なお、公信による派遣要請専門家は1976年1月より1名、2年間、機材費は1976年5月までにM\$350,000.00(約4,500万円)となっている。

- (注)
- 公信による訓練生の募集予定人数は每期24名となっている。
 - 公信による上記三コースの開設は1975年7月となっている。
 - 公信による派遣要請専門家は各コース1名計3名で、機材費は総額M\$1,000,000.00(約1億2,800万円)となっている。

V-① 調査団の質問状に対するジョホールバル職業訓練校の回答

VOCATIONAL INSTITUTE

Please indicate as fully as possible

1. **Location:** Jalan Taruka off Jalan Larkin Lama, Johor Bahru
2. **Date of inauguration:** August, 1973
3. **Objective & Character of establishment:**
See attached brochure.
4. **Qualification of trainees:**
See attached brochure.
5. **Organization:** (including number of staffs)
6. **Trainee's native place:**
 - a) environs 15 %
 - b) inner place of state 30 %
 - c) West Malaysia 95 %
 - d) whole country 100 %
7. **Instructor's native place:**
 - a) environs %
 - b) inner place of state 10 %
 - c) West Malaysia 90 %
 - d) whole country %
8. **Number of trainees, by previous record:**
 - a) agriculture
 - b) mining
 - c) industry
 - d) from Lower Secondary School 100 %
 - e) others
9. **Number of instructors, by educational background:**
 - a) Lower Secondary
 - b) Upper Secondary & Secondary Technical 100 %
 - c) Pre-University
 - d) University
 - e) others
10. **Facilities:**
 - a) site area 51,997.5 m²
 - b) floor area 6,000 m²
 - c) work shop area 594.5 m²
 - d) structure of main building: Single story
 - e) structure of work shop: Single floor
 - f) dormitory 857 m²

- g) main training machinery & equipment
Lathe, Grinding, Milling, Shaping, Drilling etc.
- h) text book & teaching material (ex. audio-visual facilities etc.)

11. **Graduates:**

- a) rate of the employed to the graduates 40 %
- b) name of employers (type of employment)
Welder – Firm
Government
- c) effects of training

12. **Technical cooperation to the Institute by other donors than Japan:**

- a) name of country
United Kingdom
- b) type of cooperation
Technical Aid
- c) experts (courses, number, status etc.)
Training of Instructors in U.K.
- d) volunteers (courses, number etc.)
Peace Corp
- e) machinery & equipment

13. **Outline of the city where vocational institute is located:**

- a) population 175,000
- b) main industry1 Shipyard, Automobil, Light Engineering.
- c) other related information

14. **Number of trainees, by age:**

- a) under 15
- b) 15 ~ 17
- c) 18 ~ 21 90 %
- d) 22 ~ 24 10 %
- e) 25 and over

15. **Number of instructors, by age:**

- a) under 25
- b) 25 ~ 30 70 %
- c) 30 ~ 35 30 %
- d) 35 ~ 40
- e) 41 and over

16. **Others: (ex. economic & social background of the Institute etc.)**

	TYPE OF VOCATIONAL TRAINING	TRAINING COURSE	PERIOD OF TRAINING	NUMBER OF TRAINEES, BY SEX		NUMBER OF INSTRUCTORS	TRAINING HOURS PER DAY	PRACTICAL—THEORETICAL TRAINING RATIO	CONTENTS OF SUBJECTS
				(Male)	(Female)				
PRESENT SITUATION	Welding	Practical & Theory	2 years	49	—	3	8 (1920) hrs.	{ 75 % Practical 25 % Theory	Welding - Arc & Gas to Intermediate level of NITTCB Examination
	Mechanical Draughtsmanship	Practical & Theory	2 years	15	15	2	8 (1920) hrs.	{ 75 % Practical 25 % Theory	Engineering drawing calculation & Science
FUTURE & EXPANSION PROGRAMME	w.e.f. 1.1.76 Electrical - Dom/Industry	Practical & Theory	2 years	42		4	8 (1920) hrs.	{ 75 % Practical 25 % Theory	Practical & Theory to Inter.
	Automobil Pet/Diesel	Practical & Theory	2 years	28		3	"	"	Level of NITTCB Examination & Trade calculation & science & reading of Blue Print.
	Turning & Machining	Practical & Theory	2 years	42		4	"	"	
	Gen. Mechanic	Practical & Theory	2 years	28		3	"	"	- do -
	Air con. Refrigeration	Practical & Theory	2 years	28		3	"	"	- do -
	Rad/T.V (Electronic)	Practical & Theory	2 years	42		4	"	"	- do -
	Agro heavy machinery	Practical & Theory	2 years	28		3	"	"	- do -
	Marine	Practical & Theory	2 years	14		2	"	"	- do -
	Sheet Metal	Practical & Theory	2 years	14		2	"	"	- do -
	w.e.f. 1977 Electro. Plating	Practical & Theory	2 years	14		2	"	"	- do -

